

新人戦が終了!

朝夕はやや肌寒さを感じる季節となりましたが、運動や文化面の活動をするのに、絶好の時期となってきました。対外行事では、24日(水)～26日(金)に地区内の各会場において、岩瀬支部の新人戦が行われました。今回は雨のために屋外種目が延期となり、3日間の開催となりました。もう一步の種目が多く残念な結果となりましたが、「敗戦や失敗からの方が学ぶことは多い」と言われます。また『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』(野村克也の名言より)とも言われます。今回の大会の反省を生かし、各部とも大きく飛躍するよう期待しています。



明日、10月1日(水)には岩瀬地区音楽祭(合奏)が須賀川市文化センターで開催されます。今までの練習の総決算として、感動する演奏をしてほしいと思います。

文化祭に向けて!

10月18日(土)に行われる文化祭に向けて、生徒たちは合唱練習や準備等で活気に満ちた学校生活を送っています。全校生が力を合わせ、質の高い文化祭にしたいと思います。当日の発表を楽しみにしていただければと思います。

◎中間テスト 10月3日(金)・6日(月)

新人戦が終了したばかりですが、今週末から来週にかけて中間テストが実施されます。時間を有効に使い、計画的な学習をするようご家庭でも見守ってあげてください。

歴代会長会を開催しました。

18日(金)の午後6時30分から、「なじみ」においてPTA・体育文化後援会の歴代会長会を開催しました。12名の皆様が出席し、協議の後、懇親を深めました。

◆PTA親子奉仕作業◆

27日(土)の早朝に、第2回PTA親子奉仕作業を行いました。3年生の一部は松明あかしに使う茅刈りを行い、残りの生徒は校舎周辺の刈り取った草の後片付け等を行いました。校舎周辺が大変きれいになりました。

お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



《西中生の活躍》

◎岩瀬支部新人総合大会

- ・バレーボール女子 2位
- ・卓球女子シングルス 優勝 五十嵐のどか
ベスト8 曲山 彩香
- 男子ダブルス 3位 和田歩空・小黒 司
- ・ソフトテニス女子個人
ベスト16 和田桃花・佐藤陽咲 水野ゆめか・高橋まや ※県中へ
- ・バドミントン女子シングルス 優勝 遊佐栞那 ※県中へ
- ・硬式テニス男子シングルス 優勝 名子弥希

◎県中県南新人陸上競技大会

- ・男子リレー 4位 (49秒03) ※県大会出場
(渡邊・安田・戸田・二瓶)
- ・走高跳 4位 小枝友樹 ※県大会出場

生徒会役員立会演説会・選挙を実施!

18日(木)の午後に生徒会役員立会演説会を実施しました。今回は11名の生徒が立候補し、全校生に対して自分の考えをしっかりと主張しました。投票では、市の選挙管理委員会からお借りした本物の記載台と投票箱を利用し、選挙の雰囲気味わうことができました。放課後には、選挙管理委員会により開票作業が行われ、新生徒会役員が決定しました。



☆☆☆こころの窓☆☆☆

“叱る”と“怒る”は、意味が少し違うようですが、叱る側、叱られる側どちらも気分はよくないものです。いつも褒められることばかりだといいのですが・・・?

真剣に叱られる

お互い人間、叱られるということは、あまり気持ちのよいものではない。自分に非があったと認めていても、叱られるということはやはりいやである。だから、叱られるよりも叱られないほうを好みがちで、これは一つの人情である。また叱るほうにしても、あまり気持ちのよいものではない。うれしい思いはしない。だからできれば叱らないに越したことはないわけ、これもまた一つの人情と言えよう。

しかし、人情と人情がからみ合って、マアマのウヤムヤにすぎ、叱りもしなければ叱られもしないということになったらどうなるか。神様ならいざ知らず、お互いに人間である。知らず知らずのうちに、もの見方・考え方が甘くなり、そこに弱さともろさが生まれてくることになる。

もちろん、私情にかられてのそれはいけないけれども、ものの道理について真剣に叱る、また真剣に叱られるということは、人情を越えた人間としての一つの大事なつとめではあるまいか。叱られてこそ人間の真の値打ちが出てくるのである。叱り、叱られることにも、お互いに真剣でありたい。